

令和2年8月31日
Vol.4

中津高職員が届ける

卒業生からのメッセージ

今回は化学担当、山内智介先生の届ける、財務省にお勤めの西尾隆弘さんからのメッセージです！

◆山内智介先生との関係

山内智介とは中学時代のバスケットボールクラブからの付き合いです。実は親類にあたりますが、知り合った当初は全く知りませんでした笑。その後、二人とも中津高校に進学し、バスケ部に入部。二人とも補欠でしたが補欠は補欠なりに一生懸命かつ楽しく部活動に打ち込む高校生活を過ごしました。



仕事場の様子

◇今の仕事内容

私は財務省国際局で働いています。これまで中国韓国経済の分析や為替市場の分析を担当してきました。去年は英国のエディンバラ大学にて公共政策学を学んでいました（Covid-19の影響で予定よりも早く帰国することになりましたが。。。）。現在はこれまでの知識を生かし世界の貧困問題を解決するために世界銀行やアジア開発銀行といった開発金融機関と呼ばれる機関の担当をしています。世界の貧困問題をどのように解決するのか、開発途上国と先進国との利害関係、融資業務にかかる正統性等を常に考えつつ仕事をしています。

留学先の エディンバラ大学



◆高校生の皆さんに伝えたいこと

月並みですが、「答えのない何かに本気で取り組みましょう」。加えて、「本気になったときに思考を止めないようにしましょう」です。本気になるものは部活でも学祭でも何でも良いです。そこでただ本気になり何かに漫然と打ち込むのではなく、しっかりと思考を重ねることが重要だと思います。例えば、「どうやったらもっとシュートが入るようになるのか」、「どうやったらもっと学祭を盛り上げられるのか」をひたすら考え続けましょう。考え実行し検証し、また考える。この過程は非常に苦しいですが、同時に非常に面白いものです。まさにトライアンドエラーですね。

学校での勉強の答えは基本的に一つですが、（みなさんもお気づきのように）実際には答えが一つの世界なんてあり得ません。だからこそ、思考が大切なのです。なぜその答えがよりよい答えだといえるのか？なぜ自分がその選択をしたのか？常に問い続けることが重要です。

授業でもどんどん質問しましょう。純粋な疑問、みんなが当たり前だと思っていることが得てして本質をついた質問だったりします。先生を困らせてやりましょう。例えば授業中に先生の言った言葉のそもそもの定義は何なのか？その定義はだれがどう決めたのか？等々多面的に考えることが重要です。

今後どんな職業についてたとしても、問われるのは思考力です。とにかく深く深く思考する癖をつけましょう！！

留学した街の風景



留学先でできた友人たちと

